

◆安易に進めるのは危険？人件費削減のリスク◆

さて、あなたが会社の経費削減に迫られた場合、どのような手段をとりますか？

- ◆ ----- ◆
安易に進めるのは危険？
人件費削減のリスク
- ◆ ----- ◆

企業が経営状況を改善するために行なう手段の一つとして「人件費削減」が挙げられます。やむを得ない手段だと捉える人もいますが、人件費削減で会社が生き残れたとしてもその後、順風満帆とはいかないようです。

確かに一時的な利益は確保できるかもしれませんが、そこには

- ・残った従業員の業務量の増大
- ・従業員の会社に対する不信感とモチベーションの低下
- ・企業イメージの低下など 数々のリスクがあるのです。

もし人件費削減でリストラが起これば社内の雰囲気が悪くなることは必至です。そして、その雰囲気は取引先や顧客など外部にも伝わります。社内外から、【危ない会社】だと判断されることは企業の将来的な業績やイメージに大きな影響を与えるでしょう。

では、リスクを負わずに人件費を見直したい場合、どうすれば良いのでしょうか。

実際に、人件費削減に対して慎重に取り組んでいる企業は、このようなことを実施しているようです。

- 現状の業務フローを見直し、無駄な出張や会議、二度手間の工程があれば改善する
→残業代や出張費を削減
- 適性に合わせて人員配置を見直し、業務効率化を図る
→残業代や休日出勤手当を削減など

大規模なリストラや給与カットなど安易な人件費削減は、会社を危機にさらします。

まずは無駄な作業がないか見直し、業務効率化を始めることから取り組んでみてはいかがでしょうか。「業務効率化」も人件費削減への一歩になり得ますよ。

- ■ □ ----- □ ■ □
編集後記



今回は「人件費削減のリスク」をテーマにお伝えしました。経費削減というと真っ先に着手されがちな人件費ですが、実行にあたり大きなリスクが含まれます。

記事を書きながら、当社も人件費を見直すときは業務フローの改善から始めてみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。
それでは、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

